

“FAから次世代の
クリーンルーム・テクノロジーまで”

JASDAQ
証券コード: 5742

Key Technologies for the future

Alfa Frame Systems

Factory Automation

Cleanroom

2008年3月期（第37期） 決算説明会



2008年5月12日

エヌアイシ・オートテック株式会社

代表取締役社長 西川 浩司



目次

I 2008年3月期(第37期)決算概要

II 2009年3月期(第38期)通期業績予想

III 今後の施策

IV 会社概況

I 2008年3月期(第37期)決算概要

II 2009年3月期(第38期)通期業績予想

III 今後の施策

IV 会社概況

業績推移(要約財務諸表)

(単位:百万円)

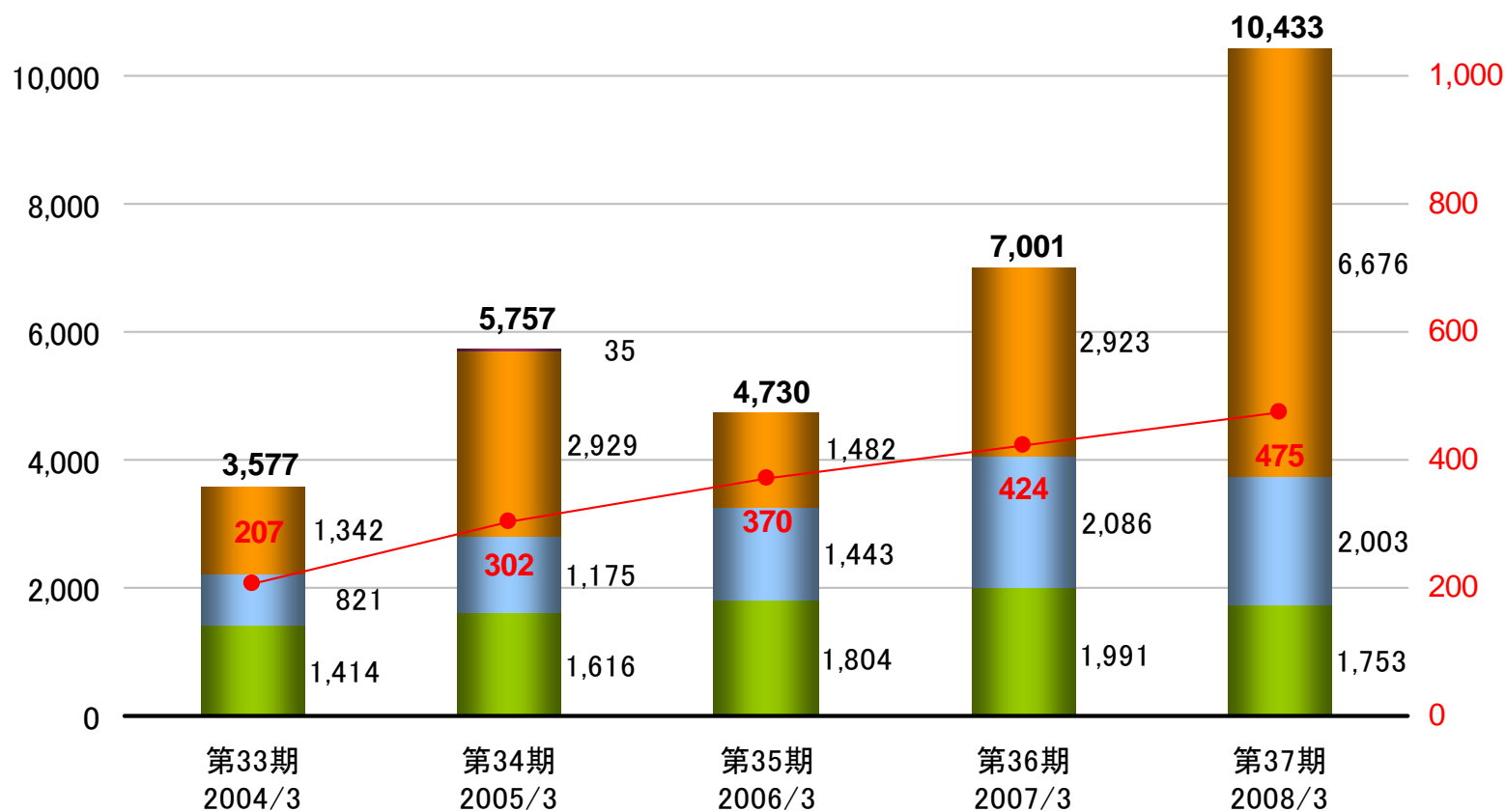
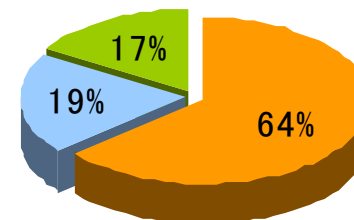
	第33期 (2004年3月期)	第34期 (2005年3月期)	第35期 (2006年3月期)	第36期 (2007年3月期)	第37期 (2008年3月期)
売上高	3,577	5,757	4,730	7,001	10,433
売上総利益	1,029	1,250	1,276	1,364	1,384
営業利益	226	302	358	426	463
経常利益	207	302	370	424	475
経常利益率	5.8%	5.2%	7.8%	6.0%	4.6%
当期純利益	129	157	221	239	268
株主資本	1,912	2,048	2,285	2,721	2,868
総資産	3,694	4,294	3,977	4,706	6,084
株主資本比率	51.7%	47.7%	57.4%	57.8%	47.1%
ROE	7.0%	7.9%	10.2%	9.6%	9.6%
ROA	6.4%	7.6%	8.7%	9.8%	8.6%

※ROE=当期純利益/株主資本、ROA=営業利益/総資産は、期中平均により算出

売上高及び経常利益の推移

第37期 2008/3

- アルファフレーム
- 装置
- 商事
- その他
- 経常利益 (単位:百万円)



第37期決算概要(P/L) 前年比

(単位:百万円)

	第37期実績 (2008年3月期)		前年実績 (2007年3月期)		前年比	第37期計画(参考) (2008年3月期)		計画比
売上高	10,433	100%	7,001	100%	149%	10,000	100%	104%
売上総利益	1,384	13%	1,364	19%	101%	1,430	14%	96%
営業利益	463	4%	426	6%	109%	450	5%	103%
経常利益	475	5%	424	6%	112%	460	5%	103%
当期純利益	268	3%	239	3%	112%	260	3%	103%

■前年比要因

- 売上高 : 前年度より引続き設備投資の増加を背景に、自動車部品の製造関連企業向け大型機械設備（部品加工専用機及び当社製品の洗浄・搬送装置等）の大口案件の受注により大幅に増収
- 売上総利益 : 原材料価格が高値で推移し原価率が上昇、また大型機械設備投資案件の受注に伴い粗利益率が低下するも、売上高伸長により増益
- 営業利益 : 売上高の伸長に伴い、また株式上場にかかる手数料等の減少や経費削減等により増益
- 経常利益 : 売上高の伸長に伴い、また新株発行に伴う株式交付費等が減少したことにより増益
- 当期純利益 : 当期より引当を開始した製品保証引当金の繰入、また増益等による法人税等の増加となるもこれらを吸収して増益

アルファフレーム部門(品目別売上高)

(単位:百万円)

	第37期実績		前年実績		前年比	第37期計画(参考)		計画比
	(2008年3月期)		(2007年3月期)			(2008年3月期)		
アルファフレーム	844	48%	920	46%	92%	936	45%	90%
補助部品	728	42%	862	43%	84%	926	45%	79%
その他	180	10%	207	10%	87%	218	10%	83%

■前年比要因

- アルファフレーム : 家電製品関連業界からの大口案件や自動車関連業界からの需要が増加傾向にあったものの、液晶関連業界から大口案件の引き合いが一服、また販売価格競争激化に伴い売上高が減少
- 補助部品 : アルファフレームの売上高減少に伴い、補助部品の売上高も減少
- その他 : その他は、「顧客ニーズの多様化に伴う追加加工費及び組立費並びにカタログ製品外」の売上高で、アルファフレーム及び補助部品の売上高減少に伴い売上高が減少

アルファフレーム部門(販売先別売上高)

(単位:百万円)

	第37期実績 (2008年3月期)		前年実績 (2007年3月期)		前年比	第37期計画(参考) (2008年3月期)		計画比
	売上高	比率	売上高	比率		売上高	比率	
代理店販売	1,584	90%	1,746	92%	91%	1,809	87%	88%
直接販売	169	10%	245	8%	69%	270	13%	63%

■前年比要因

- 代理店販売 : 代理店営業マンの商品知識とモチベーション向上のため、定期的な勉強会の開催や分かりやすいカタログ作成等を通じて販売強化するも、液晶関連業界からの受注低下、また販売価格競争激化に伴い前年より減少
- 直接販売 : 個別に強度解析等の支援を必要とする大口ユーザーに対して直接サポートが可能な直接販売体制の整備を行うも、代理店販売同様に液晶関連業界からの受注低下、また販売価格競争激化に伴い前年より減少

装置部門(品目別売上高)

(単位:百万円)

	第37期実績		前年実績		前年比	第37期計画(参考)		計画比
	(2008年3月期)		(2007年3月期)			(2008年3月期)		
洗浄装置	117	6%	95	5%	123%	134	6%	87%
検査装置	27	1%	98	5%	27%	178	8%	15%
搬送・梱包装置	753	38%	638	31%	118%	453	22%	166%
クリーンブース	576	29%	574	28%	100%	693	33%	83%
アルミ構造物	81	4%	191	9%	42%	132	6%	61%
その他	447	22%	488	23%	92%	517	25%	86%

■前年比要因

- 洗浄装置 : 大型洗浄機はユーザーの計画変更が影響するも、自動車関連業界向け中型の洗浄装置及び洗浄装置関連機器は堅調に推移し伸長
- 検査装置 : ユーザーの計画変更に伴う影響により低調
- 搬送・梱包装置 : 光ディスク製造装置等の継続的な大口受注により伸長
- クリーンブース : FPD製造装置向け大型カスタムクリーンブースは、ユーザーの計画見直しによる期ズレの影響を受けるも堅調に推移
- アルミ構造物 : カスタム仕様マシンカバーは、原材料価格高騰からユーザーが仕様変更等を行ったことにより大幅に減少
- その他 : 光ディスク製造装置用部品納入等が増加するも前年を下回る

装置部門(販売先別売上高)

(単位:百万円)

	第37期実績		前年実績		前年比	第37期計画(参考)		計画比
	(2008年3月期)		(2007年3月期)			(2008年3月期)		
自動車部品	218	11%	272	13%	80%	402	19%	54%
家電関係	800	40%	703	34%	114%	549	26%	146%
弱電関係	4	0%	27	1%	15%	33	2%	13%
機械関係	952	48%	1,001	48%	95%	994	47%	96%
食品関係	9	0%	1	0%	843%	6	0%	156%
薬品関係	13	1%	8	0%	166%	11	1%	124%
その他	5	0%	71	3%	8%	115	5%	5%

■前年比要因

- 自動車部品 : 中型の洗浄装置及び洗浄装置関連機器は堅調に推移するも大型洗浄機はユーザーの計画変更が影響し前年を下回る
- 家電関係 : 光ディスク製造装置及び同装置関連部品の継続的な大口受注により伸長
- 弱電関係 : 設備投資案件の大幅な見直しにより低調
- 機械関係 : FPD製造装置向け大型カスタムクリーンブースは、ユーザーの計画見直しによる期ズレの影響を受けるも、下期から堅調に推移
- 食品関係 : 新規設備投資案件(搬送装置)を受注したことにより大幅に伸長
- 薬品関係 : 新規設備投資案件(搬送・加工装置)を受注したことにより伸長

商事部門(品目別売上高)

(単位:百万円)

	第37期実績 (2008年3月期)		前年実績 (2007年3月期)		前年比	第37期計画(参考) (2008年3月期)		計画比
	売上高	増減率	売上高	増減率		売上高	増減率	
工業用砥石 ・油脂類	290	4%	275	9%	105%	260	4%	111%
機械設備	5,603	84%	1,905	65%	294%	4,810	83%	104%
工具・ツール	629	9%	622	21%	101%	607	10%	104%
その他	153	2%	120	4%	128%	131	2%	117%

■前年比要因

- 工業用砥石・油脂類 : 顧客の生産量拡大に伴い、機械設備に付随する消耗品等が堅調に推移
- 機械設備 : 自動車部品の製造関連企業向け大型機械設備を受注したことにより大幅に伸長
- 工具・ツール : 顧客の生産量拡大に伴い、機械設備に付随する工具・ツール等が堅調に推移
- その他 : 機械設備の改造及び修理並びに移設費用等の増加により売上高が堅調に推移

商事部門(販売先別売上高)

(単位:百万円)

	第37期実績 (2008年3月期)		前年実績 (2007年3月期)		前年比	第37期計画(参考) (2008年3月期)		計画比
	売上高	増減率	売上高	増減率		売上高	増減率	
地元大手企業	6,096	91%	2,025	69%	301%	5,244	90%	116%
その他	580	9%	898	31%	65%	566	10%	103%

■前年比要因

- 地元大手企業 : 大型機械設備投資案件の受注及び消耗品等が堅調に推移したことにより大幅に伸長
- その他 : 提案営業による既存顧客への囲い込み等により、工業用砥石・油脂類は堅調に推移

決算概要(P/L) 計画比

(単位:百万円)

	第37期実績 (2008年3月期)		第37期計画 (2008年3月期)		計画比	要 因
売上高	10,433	100%	10,000	100%	104%	・前年度より引続き設備投資の増加を背景に、自動車部品の製造関連企業向け大型機械設備(部品加工専用機及び当社製品の洗浄・搬送装置等)の大口案件を受注により増収
売上総利益	1,384	13%	1,430	14%	97%	・原材料価格が高値で推移し原価率が上昇 ・大型機械設備投資案件の受注に伴い粗利益率が低下
営業利益	463	4%	450	5%	103%	・株式上場にかかる手数料等の減少や経費削減等
経常利益	475	5%	460	5%	103%	・新株発行に伴う株式交付費等が減少
当期純利益	268	3%	260	3%	103%	・当期より引当を開始した製品保証引当金の繰入、また増益等による法人税等の増加となるもこれらを吸収して増益
研究開発費	62		65		96%	・新規開発及び既存製品改良等を中心に投資
設備投資額	161		169		96%	・技術開発センターの設立及び当社独自の受発注・設計・組立支援ソフト等の取得
減価償却費	70		70		100%	・既存設備の償却額：59 ・当期取得分償却額：11

決算概要(B/S)

(単位:百万円)

	第37期実績 (2008年3月期)	前年実績 (2008年3月期)	増減	増減内容
総資産	6,084	4,706	1,377	<ul style="list-style-type: none"> ・建物(技術開発センター)及びソフトウェア(受発注・設計・組立支援ソフト)の増加+160 ・現金及び預金の増加+707 ・受取手形及び売掛金の増加+756 ・棚卸資産の減少▲187
(棚卸資産)	604	794	▲189	<ul style="list-style-type: none"> ・装置部門(FA装置、クリーンブース等)の仕掛品等の減少
負債	3,215	1,984	1,230	<ul style="list-style-type: none"> ・支払手形及び買掛金の増加+1,237 ・製品保証引当金の増加+11 ・社債の減少▲40
(有利子負債)	20	60	▲40	<ul style="list-style-type: none"> ・社債の減少(期末の社債残高20)
純資産	2,868	2,721	146	<ul style="list-style-type: none"> ・利益剰余金の増加+221 ・自己株式取得による減少▲34

決算概要(キャッシュ・フロー)

(単位:百万円)

	第37期実績 (2008年3月期)	前年実績 (2008年3月期)	増減	増減内容
営業活動	1,018	453	565	<ul style="list-style-type: none"> ・ 税引前当期純利益の増加による資金増加+52 ・ 仕入債務の増加による資金増加+551 ・ 売上債権の増加による資金減少▲405 ・ 棚卸資産の減少による資金増加+465 ・ 法人税等の支払による資金減少▲37
投資活動	▲190	▲73	▲116	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有形固定資産の取得による資金減少▲68 ・ 無形固定資産の取得による資金減少▲40
財務活動	▲120	▲251	131	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前事業年度の株式の発行による資金増加▲251 ・ 自己株式取得による資金減少▲34 ・ 借入返済がなくなったことによる資金増加+425
現預金残高	1,003	295	707	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上記の各要因による資金増加+707

受注高実績

(単位:百万円)

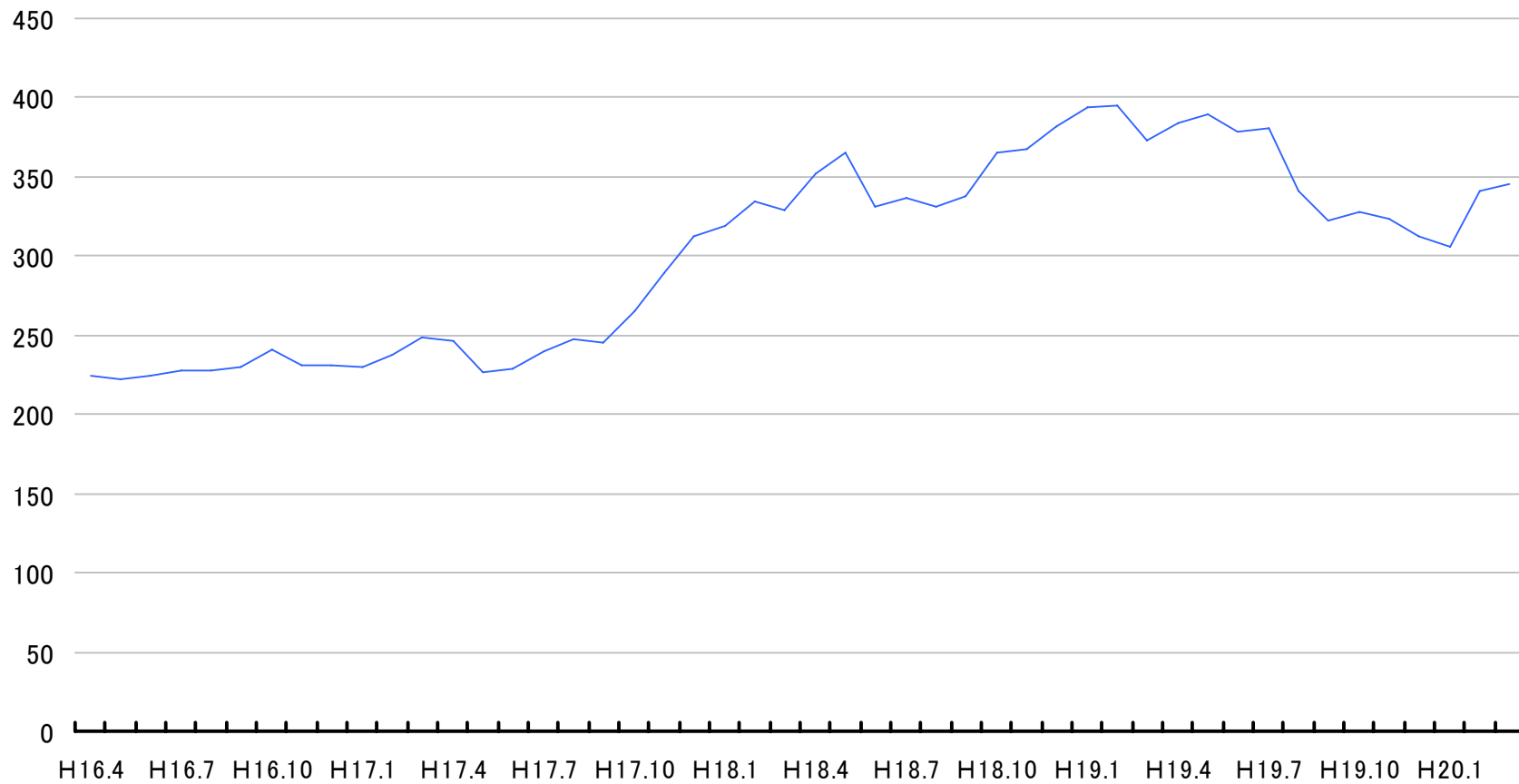
	第37期実績 (2008年3月期)		前年実績 (2007年3月期)		前年比	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
アルファフレーム部門	1,732	39	2,017	79	▲284	▲39
装置部門	1,549	677	2,870	1,132	▲1,320	▲454
商事部門	5,516	19	4,049	1,180	1,467	▲1,160
合計	8,798	737	8,936	2,392	▲137	▲1,654

■前年比要因

- アルファフレーム部門 : 前年好調な半導体・液晶関連業界からの受注が一服
- 装置部門 : 前年好調な光ディスク製造装置の設備需要が一服
- 商事部門 : 自動車部品製造関連企業からの大型機械設備投資案件により大幅に伸長

アルミ地金価格推移

(単位:円/Kg)



※ 日経市況データより

I 2008年3月期(第37期)決算概要

II 2009年3月期(第38期)通期業績予想

III 今後の施策

IV 会社概況

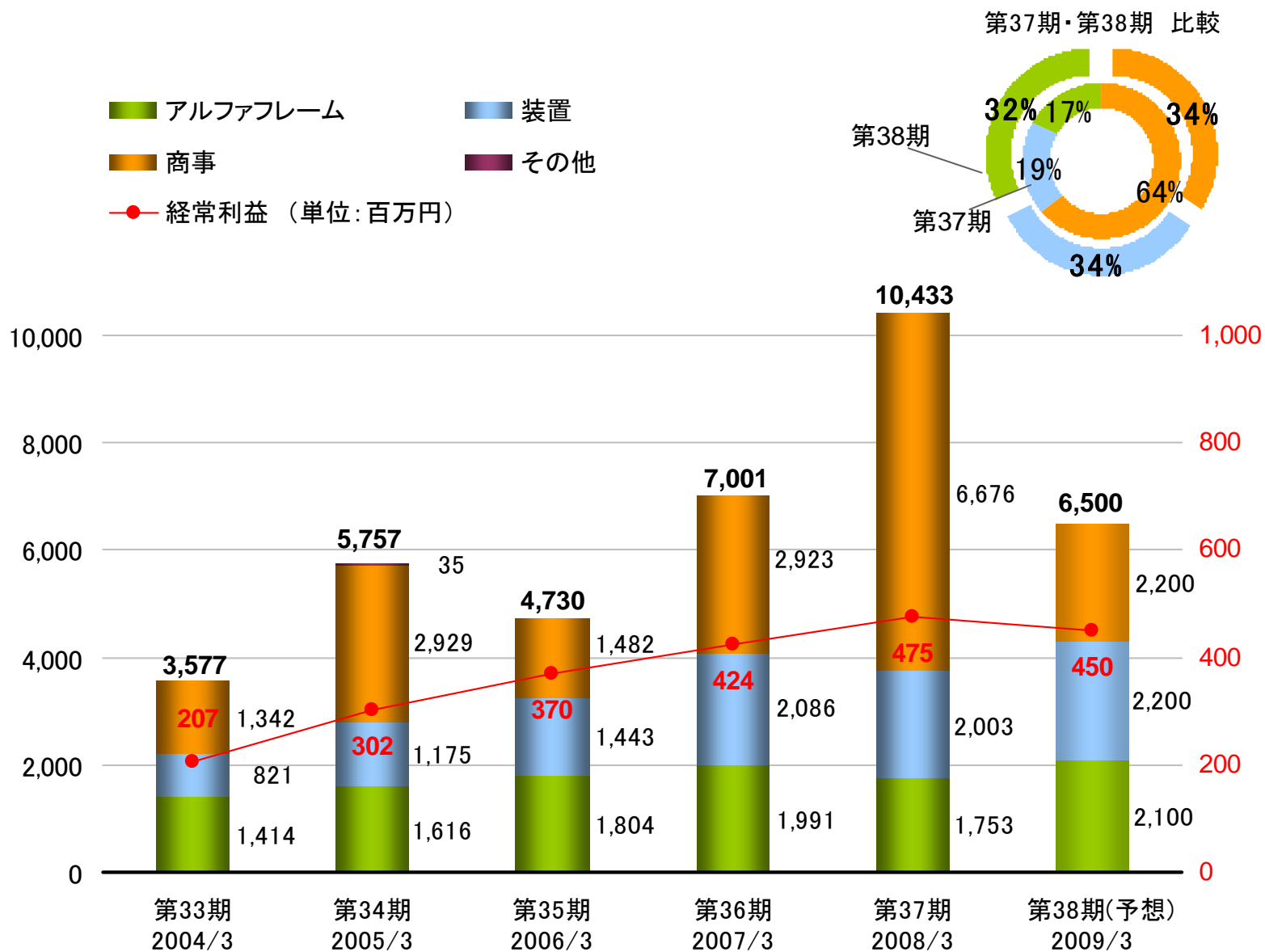
業績推移(要約財務諸表)

(単位:百万円) <ご参考>

	第33期 (2004年3月期)	第34期 (2005年3月期)	第35期 (2006年3月期)	第36期 (2007年3月期)	第37期 (2008年3月期)	第38期 (2009年3月期)
売上高	3,577	5,757	4,730	7,001	10,433	6,500
売上総利益	1,029	1,250	1,276	1,364	1,384	1,420
営業利益	226	302	358	426	463	450
経常利益	207	302	370	424	475	450
経常利益率	5.8%	5.3%	7.8%	6.0%	4.6%	6.9%
当期純利益	129	157	221	239	268	256
株主資本	1,912	2,048	2,285	2,721	2,868	—
総資産	3,694	4,294	3,977	4,706	6,084	—
株主資本比率	51.7%	47.7%	57.4%	57.8%	47.1%	—
ROE	7.0%	7.9%	10.2%	9.6%	9.6%	—
ROA	6.4%	7.6%	8.7%	9.8%	8.6%	—

※ROE=当期純利益/株主資本、ROA=営業利益/総資産は、期中平均により算出

売上高及び経常利益の推移



アルファフレーム部門

■品目別売上高予想

(単位:百万円)

	今期計画 (2009年3月期予想)		前年実績 (2008年3月期実績)		増減	前年比	要 因
	売上高	増減率	売上高	増減率			
アルファフレーム	1,050	50%	844	48%	205	124%	<ul style="list-style-type: none"> ・新商品発売、新総合カタログ発刊(予定) ・当社独自の受発注・設計・組立支援ソフトによるサービス強化
補助部品	840	40%	728	42%	111	115%	<ul style="list-style-type: none"> ・上記アルファフレームに同じ
その他	210	10%	180	10%	29	116%	<ul style="list-style-type: none"> ・顧客ニーズの多様化に伴う追加加工の増加 ・当社独自の受発注・設計・組立支援ソフトによるサービス強化に伴う加工及び組立の増加

■販売先別売上高予想

代理店販売	1,743	83%	1,584	90%	158	110%	<ul style="list-style-type: none"> ・当社技術力を活かした提案営業の強化 ・当社独自の受発注・設計・組立支援ソフトによるサービス及びサポートの強化
直接販売	357	17%	169	10%	187	211%	<ul style="list-style-type: none"> ・強度解析等による大口ユーザーへの直接サポートを強化 ・当社独自の受発注・設計・組立支援ソフトによるサービスの強化 ・当社ホームページ問合せ及び展示会来訪者に対する組織的フォローの強化

装置部門(品目別売上高予想)

(単位:百万円)

	今期計画 (2009年3月期予想)		前年実績 (2008年3月期実績)		増減	前年比	要 因
洗浄装置	196	9%	117	6%	79	168%	・ 中型の洗浄装置及び洗浄装置関連機器は堅調
検査装置	79	4%	27	1%	52	293%	・ 中型洗浄装置及び大型洗浄装置の需要に伴い検査装置も堅調
輸送・梱包装置	177	8%	753	38%	▲576	24%	・ 光ディスク製造装置の設備投資は一服となり減収を見込
クリーンブース	1,021	46%	576	23%	444	177%	・ 海外市場向け大型カスタムクリーンブースは拡大傾向
アルミ構造物	154	7%	81	4%	73	190%	・ 当社独自の受発注・設計・組立支援ソフトによるサービス及びサポートの強化に伴い、マシンカバー関係は堅調
その他	570	26%	447	22%	122	127%	・ 新規試作部品及びクリーン関連部品 (FFU、パネル等) は堅調

装置部門(販売先別売上高予想)

(単位:百万円)

	今期計画 (2009年3月期予想)		前年実績 (2008年3月期実績)		増減	前年比	要 因
自動車部品	294	13%	218	11%	76	135%	・ 中型の洗浄装置及び洗浄装置関連機器は堅調
家電関係	542	25%	800	40%	▲257	68%	・ 光ディスク製造装置の設備投資は一服となり減収を見込
弱電関係	8	0%	4	0%	4	211%	・ 製造装置用カスタムクリーンブースが堅調
機械関係	1,262	57%	952	48%	309	132%	・ FPD製造装置向け大型カスタムクリーンブース及び精密工作機械関係の需要が堅調
食品関係	13	1%	9	0%	4	146%	・ 新規設備及び既存設備の改造等を見込
薬品関係	43	2%	13	1%	29	319%	・ 新規設備及び既存設備の改造等を見込
その他	35	2%	5	0%	29	619%	・ クリーン設備関連市場は堅調

商事部門

■品目別売上高予想

(単位:百万円)

	今期計画 (2009年3月期予想)		前年実績 (2008年3月期実績)		増減	前年比	要因
	金額	比率	金額	比率			
工業用砥石 ・油脂類	252	11%	290	4%	▲38	87%	・機械設備変更に伴う大型砥石の需要が減少 ・大型機械設備投資案件の一服に伴い、 工業用砥石及び油脂類の需要は減少
機械設備	1,300	59%	5,603	84%	▲4,303	23%	・大型機械設備投資案件が一服したことに伴い 減収
工具・ツール	540	25%	629	9%	▲89	86%	・大型機械設備投資案件が一服したことに伴い 減収
その他	108	5%	153	2%	▲45	70%	・大型機械設備投資案件が一服したことに伴い、 機械修理、改造等が見込めず減収

■販売先別売上高予想

地元大手企業	1,620	74%	6,096	91%	▲4,476	27%	・大型機械設備投資案件の一服に伴い減収
その他	580	26%	580	9%	0	100%	・既存顧客からのリピート消耗品等は堅調 ・既存顧客へのフォロー営業強化により堅調

第38期 通期業績の概要(P/L) 前年比

(単位:百万円)

	今期計画 (2009年3月期予想)		前年実績 (2008年3月期実績)		増減	前年比	要 因
売上高	6,500	100%	10,433	100%	▲3,933	62%	・ 商事部門の大型機械設備投資案件が一服することに伴い減収となるが、アルファフレーム部門で開発した当社独自の受発注・設計・組立支援ソフトの活用により同部門の売上高は伸長、また装置部門は大型カスタムクリーンブースの受注を見込
売上総利益	1,420	22%	1,384	13%	35	103%	・ 利益率の低い大型機械設備投資案件の減少で粗利益率が大幅に改善され前事業年度並みを見込
営業利益	450	7%	463	4%	▲13	97%	・ アルファフレーム部門の売上高伸長に伴う運賃や広告宣伝費等の変動費の増加により微減
経常利益	450	7%	475	5%	▲25	95%	・ 上記要因による費用の増加に伴い減益
当期純利益	256	4%	268	3%	▲12	96%	・ 同上
研究開発費	71	—	62	—	8	114%	・ 各種研究開発の充実、FA装置に係る新技術、アルファフレーム、クリーンブース等、次期新製品の開発等による増加
設備投資	34	—	161	—	▲127	22%	・ 既存設備の更新を見込(大幅な更新、改修等の計画はありません)
減価償却費	82	—	70	—	12	118%	・ 前年度取得のソフトウェア及び設備(技術開発センター等)による償却費の増加

I 2008年3月期(第37期)決算概要

II 2009年3月期(第38期)通期業績予想

III 今後の施策

IV 会社概況

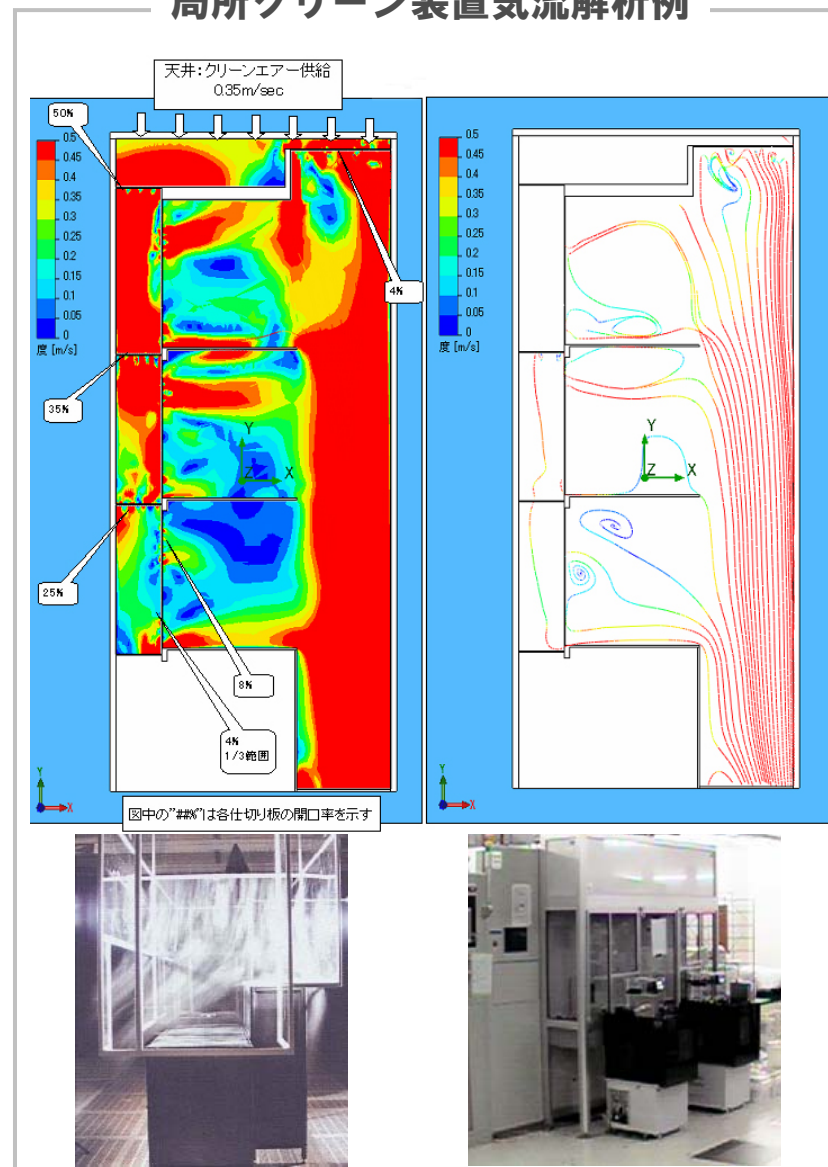
事業環境と当社の取り組み

- ◆ 昨今の人材不足による設備の自動化、省力化の促進
- ◆ 簡易組立・分解、フレキシブルに優れたアルミフレーム市場の増大
- ◆ 先端技術の微細化に伴うクリーン関連製品の需要増加
- ◆ 局所クリーン装置のパイオニアとして各種マーケットへの参入

開発の基本方針

- ◆ 開発体制強化のため技術開発センターを設立
 - ・ 開発期間の“短縮”
 - ・ 解析技術強化
- ◆ 知的財産権（平成20年3月31日現在）
 - ・ 特許権 31件／商標権 32件／意匠権 57件
- ◆ 省エネルギー及び環境にも配慮した製品・製造技術
 - ・ 環境問題対策として有害物質を代替物質へ変更
 - ・ RoHS指令への対応拡充（EU：欧州連合格格）
- ◆ コスト低減技術の継続
 - ・ 新構造アルミフレームの開発
- ◆ 高精度・高品質・高付加価値化を探求＝顧客ニーズ

局所クリーン装置気流解析例



戦略の基本方針

良い社員＋良い製品＝良い会社

" good folks + good products = good company "

◆ 人材力＝企業の子カラ

- ・ 高度な技術・サービスの提供のための人材確保
- ・ 産学連携による技術と人事交流の推進
- ・ 社員のモチベーション維持・向上

◆ 高付加価値技術の提供

- ・ 技術支援
- ・ 設計支援
- ・ 短納期

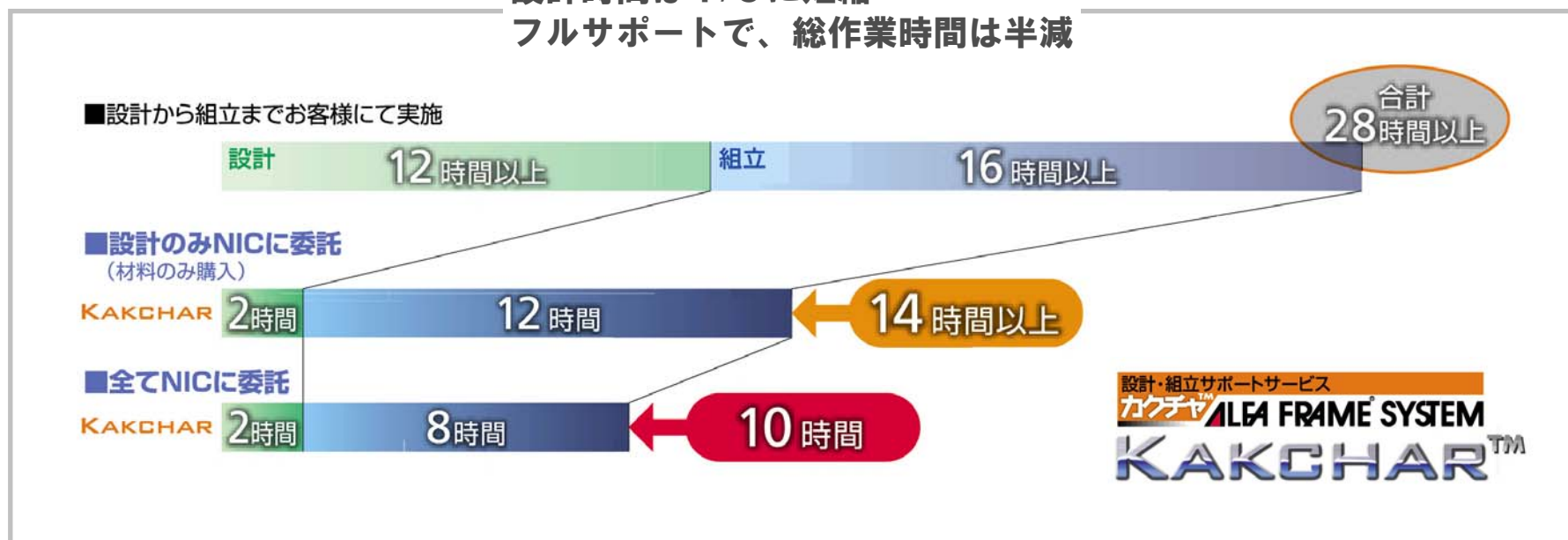
◆ ALFA FRAME® SYSTEMをコアとした新たな事業展開

設計・組立サポートサービス -1-

・ 設計・組立サポートサービス“KAKCHAR™”を開始

当社ノウハウの蓄積とお客様からのご要望から、受発注を容易にし、納期を驚異的に短縮する世界初の受発注・設計・組立支援ソフトを開発いたしました。同時に、そのシステムを活用したサポートサービス（商品名「カクチャ™」）を利用した拡販プロジェクトの立ち上げにより、さらに当社サービス、ノウハウを広くご提供することができるようになりました。

設計時間は1/3に短縮
フルサポートで、総作業時間は半減



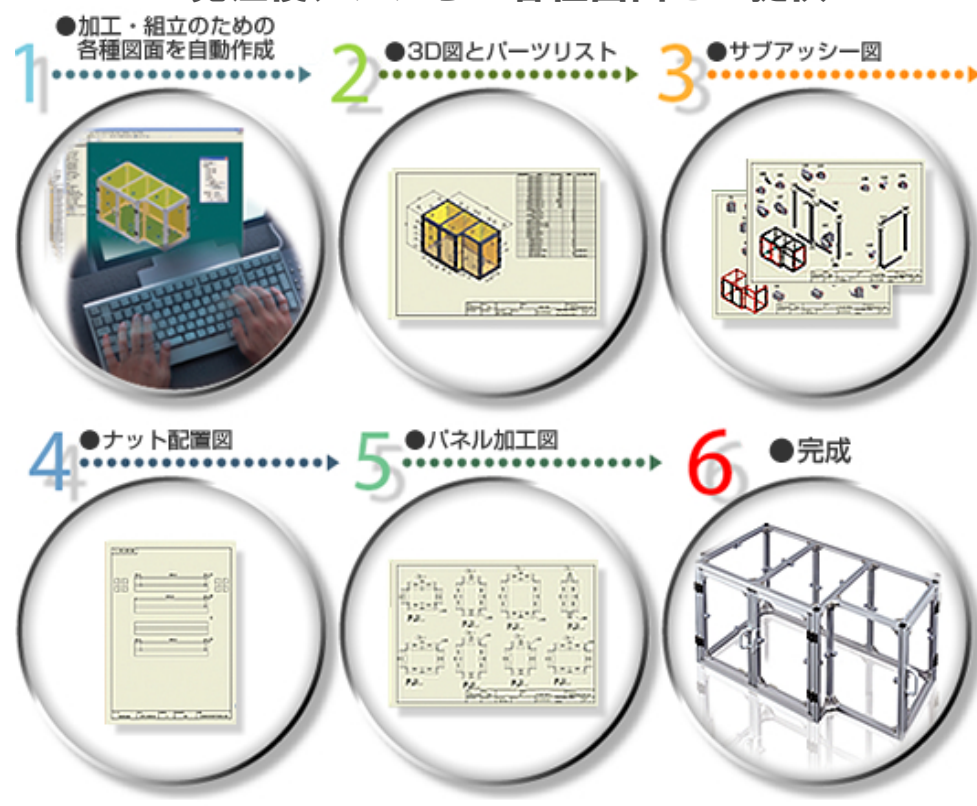
設計・組立サポートサービス -2-

・発注から据付けまでニーズに合わせて効率化

設計・組立・現地備付をサポート

- 1 迅速な出荷が可能。**
簡易な図面やラフスケッチでのご発注でも即座に設計し、迅速な出荷が可能です。
- 2 初めての方でも組立可能。**
3D図、部品表、ナット配置図、組立手順書等を提供しますので、初めての方でも組立可能です。
- 3 組立および現地据付を当社スタッフが代行。**
- 4 見積作成に必要な情報を提供。**
csvファイルでリストを提供します。
- 5 設計から据付までのフルサポートも可能。**

ご発注後、ただちに各種図面をご提供



株主還元について

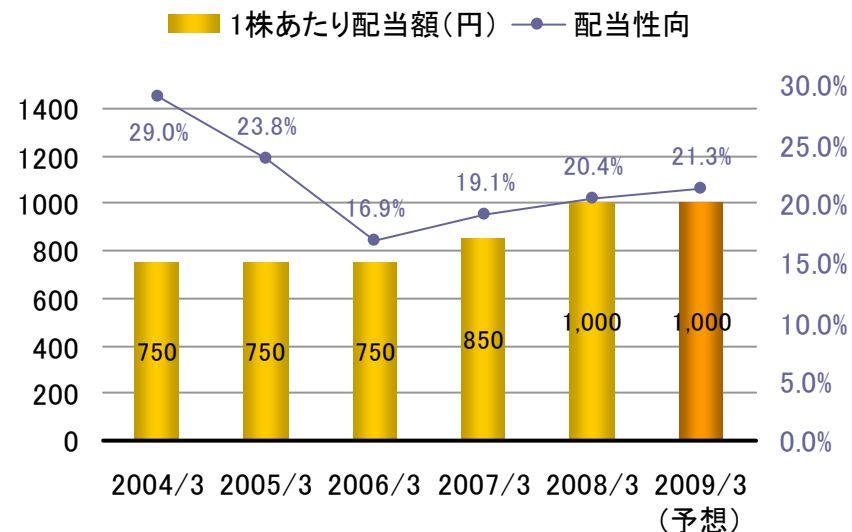
◆ 利益配分に関する基本方針

「株主に対する利益還元」を戦略上の重要な経営課題として認識しており、安定的な経営基盤の強化及び業容の充実にいっそうの努力を行って、収益の拡大を図り、営業成績やキャッシュ・フローの状況等を勘案して適切な配当を実施していくことを基本方針としております。

2008年3月期の期末配当は、2008年4月30日開催の当社取締役会において、1株当り850円に創業80周年記念配当150円を加えた1,000円を、2008年6月23日を支払開始日としてお支払いすることを決議いたしました。

◆ 株主優待制度

株主の皆様のご支援にお応えするため、毎年3月31日現在1株以上所有の株主様に対し「クオカード」1,000円券1枚を贈呈・送付させていただきます。



I 2008年3月期(第37期)決算概要

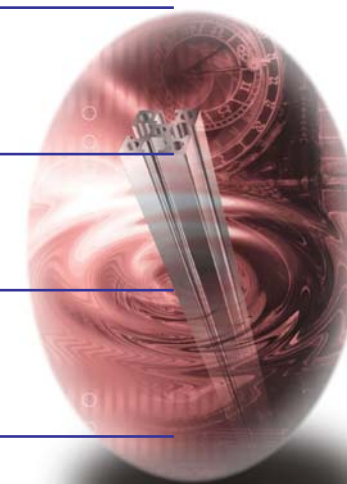
II 2009年3月期(第38期)通期業績予想

III 今後の施策

IV 会社概況

会社概要

社名	エヌアイシ・オートテック株式会社
設立	1971年5月17日
代表者	代表取締役社長 西川 浩司
本社所在地	富山県富山市清水元町7番8号
東京本社	東京都江東区有明三丁目1番25号 有明フロンティアビルB棟11階
資本金	156,100千円(2008年3月末日)
従業員数	160名うち正社員143名(2008年3月末日)



沿革

当社は創業80年の長い歴史を有する(時代と共に変革)

1927年	4月	富山県富山市に西川鑪製作所を設立、鑪の製造及び加工を行なう
1960年	3月	西川鑪製作所をクレト商会に商号変更
1970年	10月	株式会社クレトに商号変更(2002年4月吸収合併)
1971年	5月	富山県富山市にキュノ・トヤマセールス株式会社(現当社)を設立
1985年	4月	エヌアイシ・オートテック株式会社へ商号変更
1986年	4月	国産初のアルミ構造材「アルファフレーム」”ALFA FRAME® SYSTEM“を開発
1988年	5月	「アルファフレーム」の商品化、製造・販売を開始
1997年	12月	(独)M+W Zander社とクリーンルーム事業を開始(合併会社)
2001年	3月	同クリーンルーム事業を継承し、クリーンブースの製造・販売を開始
2006年	3月	ISO9001(2004年8月) ISO14001認証を取得
2006年	6月	JASDAQへ新規上場
2007年	6月	技術開発センター開設

事業所(生産・開発・販売拠点)



流杉工場(富山市)
・装置の設計・製作



立山工場(中新川郡立山町／写真左)
・アルファフレームの切断・出荷
技術開発センター(写真右)
・アルファフレームの改良・開発
・各種装置関連技術の開発



商事部門(富山市)



アルファフレーム関西(大阪府東大阪市)
・アルファフレームの加工・販売



東京本社(東京都江東区)

企業理念・経営方針

■企業理念

公 明 正 大

“志”

甘え・自惚れ・驕り・マンネリは企業の敵である
変化は常にチャンスを生み出す

■経営方針

「モノづくりを通じて社会の発展と創造に貢献する」

お客様

知恵と技術を結集した高品質な製品とサービスを提供

社員

仕事を通じて自己実現の機会を与え、快適で働き甲斐のある職場環境

株主

期待と信頼にこたえられるよう最大限の企業努力

地域社会

『感謝、感謝』の気持ちで地域に貢献

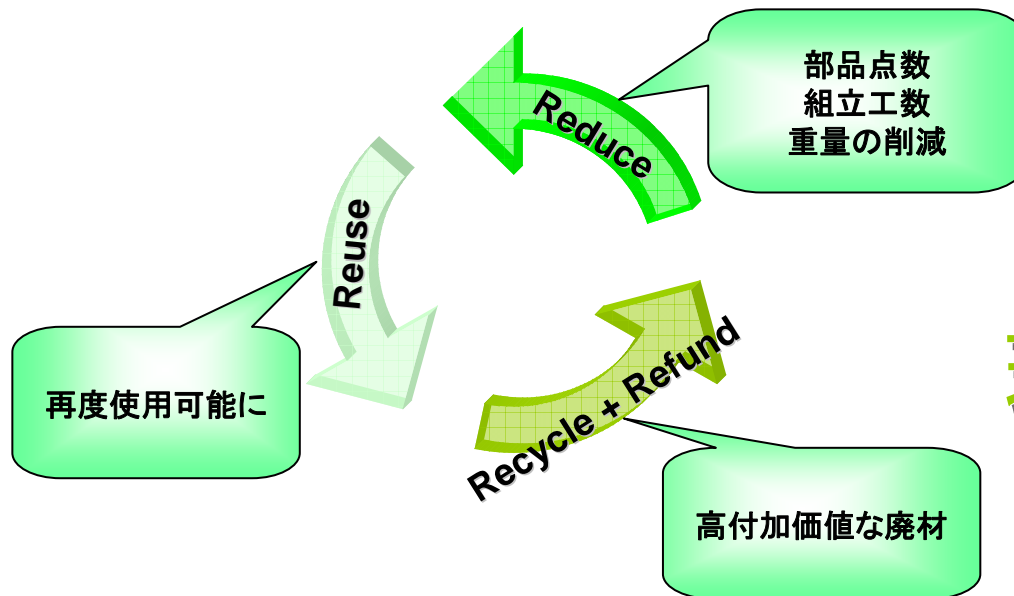
環境方針

■環境理念

当社は、地球環境保全が21世紀における人類の最も重要な課題であることを認識し、将来にわたって人類の夢が守られる持続可能な社会作りを義務として、積極的に社会貢献する。



■アルミの特性



3R(リデュース・リユース・リサイクル)
+ 1R(リファンド) = 4R
トータル原価低減

環境に優しい
グリーンテクノロジー

3つの事業部門

アルミ構造部材から高度な自動化装置、さらにはクリーンルームの製造・販売までの一貫体制

アルファフレーム部門

- ・アルミ構造部材の国内でのパイオニア的存在
- ・経験豊富なCAD設計陣による技術設計支援・サービス
- ・新製品開発力
- ・豊富な製品群(1,500以上)による多様なシステムの提供

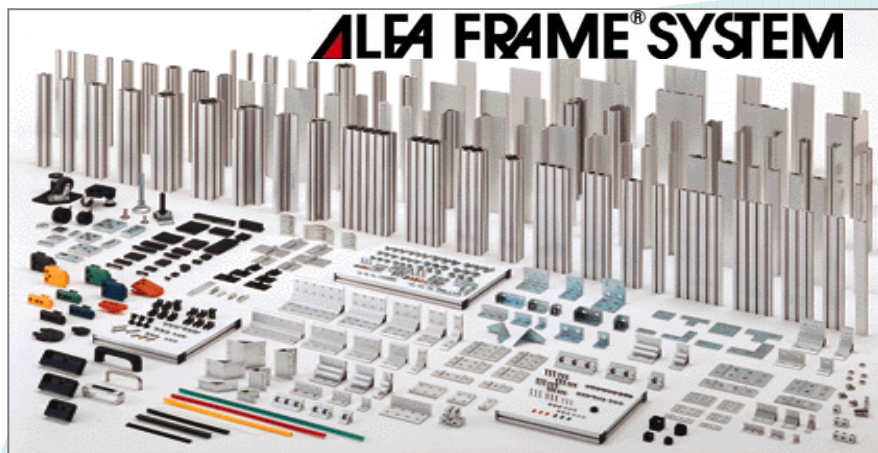
装置部門

- ・幅広い業界で利用される技術
- ・特定業界に依存しない業務体系
- ・先端技術力を持つ企業から継続的受注体制

商事部門

- ・「メーカー機能」を活用した設備の導入提案

アルファフレーム + 装置 + 商事
= 高付加価値技術の提供



【アルファフレームの特徴】

1. 環境にやさしいリサイクル性
2. 軽く強く美しいフレーム
3. 急な設計変更や増設に対応
4. 豊富な製品群“1,500以上”
5. 幅広い分野に対応

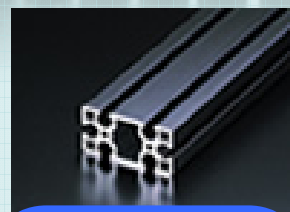


ケーシング

アルファフレーム
部門



キューブブラケット



ブラックフレーム



高剛性フレーム

組立工数比較（一般例）

●ALFA FRAME® SYSTEM(3つの加工工程)

●スチール製構造部材(6つの加工工程)

設計 + 切断 + 組立

設計 + 切断 + 溶接 + 機械加工 + 塗装 + 組立



洗浄装置



検査装置

アルファフレームシステムを使用したFA装置、クリーンブースの製造販売

装置部門



クリーンブース



搬送・梱包装置



アルミ構造物



地域密着型のメーカー機能を持った商社
として、安定したビジネスを展開



工場等の機械設備

商事部門



工業用砥石



油脂類



工具・ツール

- 本資料は、当社に関する情報の提供を目的とし、当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。
- 本資料中の業績予想並びに記載された内容は、本資料作成日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 本資料に対するお問合せは、以下のIR担当窓口にてお願い申し上げます。
＜エヌアイシ・オートテック株式会社 経営企画室＞
TEL: 03-5530-8066 FAX: 03-3570-2381
Mail: ir@nic-inc.co.jp URL: <http://www.nic-inc.co.jp/>

ご清聴下さり、ありがとうございました。

エヌアイシ・オートテック株式会社



□東京本社	/ 〒135-0063	東京都江東区有明3-1-25有明フロンティアビルB棟	TEL : 03-5530-8066
□商事部門	/ 〒930-0034	富山県富山市清水元町7-8	TEL : 076-425-1054
□流杉工場	/ 〒939-8032	富山県富山市流杉225	TEL : 076-422-2578
□立山工場	/ 〒930-0272	富山県中新川郡立山町塚越398-176	TEL : 076-463-5578
□アルファーム関西	/ 〒578-0965	大阪府東大阪市本庄西2-4-29	TEL : 06-6747-2212